

答 申 書 (案)

平成 28 年 8 月 29 日

宇都宮市河内自治会議

目 次

1	はじめに	1
2	「地域別計画における主要施策事業」について（諮問対象事業）	
(1)	道路新設改良事業	2
(2)	公共下水道整備事業	3
(3)	地域自治拠点整備事業	4
(4)	小・中学校プール整備事業	5
(5)	中央公民館改修整備事業	6
(6)	岡本駅西土地区画整理事業	7
(7)	岡本駅前周辺整備事業	8
(8)	農村公園等整備事業	9
(9)	農道整備事業	9
3	おわりに	10
	審議の経緯	12
	河内自治会議委員名簿	13

終了した事業

- ・総合運動公園整備事業（平成21年度で整備完了）
- ・小・中学校体育館整備事業（平成22年度で整備完了）
- ・小・中学校校舎整備事業（平成26年度で整備完了）

1 はじめに

合併市町村基本計画は、合併後の円滑な運営を確保するとともに、均衡ある発展を図るものとして策定されたものであり、毎年、市長から計画に掲げられた各事業の執行状況について諮問を受け、答申を行ってきたところです。今年度は、平成19年3月の合併から10年目を迎え、これまでの9年間を評価するとともに、今年度の取組について検討するなど、慎重かつ詳細に審議を重ねてまいりました。

この計画に掲げられた12事業につきましては、これまでに総合運動公園整備事業、小・中学校体育館整備事業及び小・中学校校舎整備事業の3事業が完了しました。地域自治拠点整備事業及び中央公民館改修整備事業につきましても、今年3月に一体的に整備された河内地域自治センターと河内生涯学習センターとして供用が開始され、まちづくりや生涯学習の機能を兼ね備えた新たな施設で、地域活動や人材育成をより一層精力的に行えるようになりました。

また、7月には、JR岡本駅の橋上駅舎が供用開始となり、東西が自由に通行可能となったことや駅西口駐輪場が整備されるとともに、西口駅前広場の今年度内の整備完了が予定されるなど、駅前周辺整備事業をはじめ、駅西土地地区画整理事業や公共下水道整備事業など、他の事業についても着実に整備が進められています。

今後とも、合併市町村基本計画に掲げられた各事業につきましては、本答申をもとに、地域住民の意見を尊重しながら、早期完了に向けて積極的に取り組んでいただきますよう強く要望いたします。

2 「地域別計画における主要施策事業」について（諮問対象事業）

（1）道路新設改良事業

（執行状況）

	路線名	状況	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度（予定）
事業内容	市道 20216 号線	完了	【H20 年度整備完了】		
	市道 20299 号線	完了	【H22 年度整備完了】		
	市道 20271 号線	完了	【H23 年度整備完了】		
	市道 20061 号線	完了	【H24 年度整備完了】		
	市道 20065 号線	完了	【H24 年度整備完了】		
	市道 20042 号線	整備中	調整池築造工事 用地取得ほか	用地取得ほか	道路改良工事（繰越明許費） 道路改良工事 用地取得ほか
	市道 20227 号線	整備中	用地取得ほか	道路改良工事	道路改良工事（繰越明許費）
	市道 20354 号線	未着手	—	—	—

【意見】

道路新設改良事業は、計画されている 8 路線のうち 5 路線の整備が完了し、残り 3 路線のうち 2 路線についても事業が計画的に進められております。

市道 20042 号線は、通学路になっていることに加え、平成 28 年 3 月に河内地域自治センターが供用開始したことにより、交通量の増加が見込まれ、また、東西の主要道路となることから、利用者の安心・安全を考慮のうえ、早期に整備が完了されることを望みます。

市道 20227 号線は、住民の生活環境向上や利便性確保のため、早期に整備が完了されることを望みます。

未着手路線の市道 20354 号線は、整備中の路線の進捗状況を見極めながら、路線整備の有効性及び市民の利便性などを考慮した検討が必要です。

なお、地区内全般の路線についても、計画的に整備されることを望みます。

(2) 公共下水道整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道污水管渠築造工事 (下岡本町ほか) 整備面積 7ha ・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (中岡本町外) 整備面積 6ha ・河内水再生センター増設実施設計 ・大塚中継ポンプ場実施設計, 建設工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道污水管渠築造工事 (下岡本町ほか) 整備面積 2ha ・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (下田原町ほか) 整備面積 5ha ・大塚中継ポンプ場建設工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道污水管渠築造工事 (上田原町ほか) 整備面積 80.8ha ・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (中岡本町ほか) 整備面積 8.6ha ・大塚中継ポンプ場建設工事 ・河内水再生センター水処理 4 系増設工事
整備率※1	62.4%	63.5%	—
普及率※2	54.9%	56.1%	—

※1：事業計画区域面積に対する整備面積の割合(平成 18 年度末で 35.6%)

※2：河内地区内の人口に対する下水道に接続できる人口の割合(平成 18 年度末で 38.1%)

【意見】

公共下水道の整備は、快適な生活環境の確保と豊かな自然環境を守り、河川の水質保全を図るためにも、大変身近で重要な事業であります。

また、随時事業計画区域が拡大され、河内水再生センターの処理施設の増設や中継ポンプ場の新設が予定されるなど、合併時から大きく進展しており、生活環境の向上や自然保護の面からも、引き続き計画的に整備されることを望みます。

今後とも、普及促進に努めるとともに、下水道未接続者に対する早急な取組の強化を望みます。

(3) 地域自治拠点整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	地元住民による河内地区自治拠点施設建設促進委員会において実施設計内容等を説明し、河内地域自治センター・河内生涯学習センターの改築工事に着手	河内地域自治センター改築工事が竣工し、平成 28 年 3 月に河内地域自治センター・河内生涯学習センターの供用開始	旧河内生涯学習センター解体、駐車場整備工事

【意見】

平成 28 年 3 月に供用開始した新しい河内地域自治センターは、河内地域自治センターと河内生涯学習センターが一体的に整備され、利用者が増加していることから、引き続き駐車場等の整備工事を早急に進めるとともに、地域住民にとって身近で質の高い行政サービスを楽しむことができる施設となることを望みます。

(4) 小・中学校プール整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<p>—</p> <p>※・岡本西小プールろ過設備改修 (20 年整備完了)</p> <p>・田原西小プール塗装工事 (H21 年整備完了)</p> <p>・田原小プールろ過設備及び給排 水ポンプ改修 (H23 年整備完了)</p> <p>・岡本西小プール塗装工事 (H24 年整備完了)</p>	<p>・岡本小学校プール附属棟機械室 改築工事実施設計業務委託</p> <p>・岡本小学校プール附属棟機械室 改築工事</p> <p>・岡本小学校プール附属棟機械室 改築ろ過設備工事</p>	<p>・岡本小学校プール附属棟機械室 改築工事 (繰越明許費)</p>

【意見】

小・中学校のプールは、児童・生徒の体力向上を図るうえで必要不可欠な体育施設であるため、子ども達が安心して利用できるよう、衛生面や安全面に配慮するとともに、老朽化した施設の改修を計画的に進めることを望みます。

(5) 中央公民館改修整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	地元住民による河内地区自治拠点施設建設促進委員会において実施設計内容等を説明し、河内地域自治センター・河内生涯学習センターの改築工事に着手	河内地域自治センター改築工事が竣工し、平成 28 年 3 月に河内地域自治センター・河内生涯学習センターの供用開始	旧河内生涯学習センター解体、駐車場整備工事 (再掲)

【意見】

平成 28 年 3 月に供用開始した新しい河内生涯学習センターは、河内生涯学習センターと河内地域自治センターが一体的に整備され、利用者が増加していることから、引き続き駐車場等の整備工事を早急に進めるとともに、地域住民にとって身近で質の高い生涯学習を享受できる施設となることを望みます。

(6) 岡本駅西土地区画整理事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	・仮換地指定 (1.6ha) ・建物移転 (14 棟) ・道路築造 (300m) ・整地造成 (10,151 m ²)	・仮換地指定 (1.4ha) ・建物移転 (29 棟) ・道路築造 (384m) ・整地造成 (10,939 m ²)	・道路築造工事 延長 460m (都市計画道路・区画道路) ・雨水排水築造工事 延長 90m ・整地工事 面積 15,000 m ²
進捗率※	52.0%	55.2%	—

※進捗率＝目標値の事業費 26,000 百万円に対する実績累計の金額の割合

【意見】

岡本駅西土地区画整理事業は、長期にわたり多額の財源が投入され、地域住民の理解と協力のもと、精力的に取り組まれ、宇都宮市の北の玄関口としての都市基盤の整備が着実に進められています。

今後も、地域住民の意見を踏まえた街づくりを行うとともに、住みたいと思えるような魅力ある都市環境づくりと地域の発展のため、早急に整備を進めるとともに、土地利用の促進を図り、安心・安全な地域になることを望みます。

(7) 岡本駅前周辺整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・東西自由通路・橋上駅舎工事・駅西口広場築造工事	<ul style="list-style-type: none">・東西自由通路・橋上駅舎工事・駅西口広場築造工事・西口駐輪場整備工事・駅東口電線共同溝詳細設計	<ul style="list-style-type: none">・東西自由通路・橋上駅舎工事 (平成 28 年 7 月 1 日供用開始)・駅東口電線共同溝詳細設計・駅西口広場舗装工事など

【意見】

岡本駅前周辺地区は、宇都宮市都市計画マスタープランの全体構想において、市北東部の地域交流拠点の一つに位置づけられており、地域の要となるものです。

平成 28 年 7 月に岡本駅の橋上駅舎の供用が開始され、東西自由通路が通行できるようになりましたが、駅西口広場舗装工事や駅東口再整備などの事業についても、駅周辺の活性化と利用者に配慮した、宇都宮市の北の玄関口にふさわしい整備を望みます。

(8) 農村公園等整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農村公園整備の整備内容等について、関係部署との協議 ・地元と協議（整備の進め方、維持管理について） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 下組自治会から『農村公園の整備は必要ない』との意向を受けた。 ・ 8月 下田原南部2ヶ所の農村公園について、地元自治会の意向や地域の状況を踏まえ、整備しない方向とした。 ・ 3月 地元自治会の意向等を踏まえ、農村公園の整備を行わない旨を地元自治会に説明した。 	農村公園については、整備しない方向とする。

【意見】

農村公園については、これまでの地元との整備のあり方の協議を踏まえ、地元の意向に沿って整備しないことを望みます。

なお、整備予定であった土地については、地域の活性化に繋がるよう、今後、有効活用に向けて検討を進めていくことを望みます。

(9) 農道整備事業

(執行状況)

事業内容	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
下ヶ橋河原地区	2 地区 (334m)	1 地区 (81m)	—
下田原南部地区	1 地区 (236m)	1 地区 (340m)	1 地区 (230m)

【意見】

地域の重要な産業である農業の生産性の向上と農業経営の合理化のため、農道整備が順調に進められており、今後も、地元の要望を踏まえながら、計画的に整備されることを望みます。

3 おわりに

平成18年度に策定した合併市町村基本計画におきまして、河内地域の個性と特性を生かした誰もが住みやすい魅力あるまちとして発展するため、12の主要な施策・事業が位置付けられ、これら事業に優先的、積極的に取り組んでいただいた結果、概ね順調に進捗している状況にあります。

河内自治会議は、今年度をもって終了となりますが、これまでの各事業の進捗状況を振り返りますと、小・中学校校舎や体育館、プールの整備による教育環境の充実や、「スポーツのまち河内」にふさわしい、本格的な陸上競技場や屋内温水プールなどが完備された河内総合運動公園が完成し、スポーツ・レクリエーションの活動環境の充実が図られました。

今年3月に、白沢地区にありました河内地域自治センターは、図書館や体育館などの公共施設が集積するエリアに生涯学習センターと一体的に整備され、「人づくりとまちづくり」の拠点として、利用者が大幅に増加しています。7月には、宇都宮市の北の玄関口であるJR岡本駅が橋上駅舎となり、東西をつなぐ自由通路やエレベーター・エスカレーターが設置されるなど、誰もが利用しやすく利便性が向上しました。

また、来年度にかけまして駅周辺整備が予定され、今後さらに、計画人口4,700人の駅西土地区画整理事業などが計画的に進められており、本市が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」における北東部の地域拠点としての機能がますます高まっていくものと考えております。

今後も、地域が目標とする「水と緑に囲まれ、やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域」の実現に向け、これまで以上に地域と行政で連携を深め、本答申や今年度末にまとめる「地域のまちづくりに関する施策について」の提案などを踏まえ、「河内らしさ」を活かしながら事業が推進されることを強く希望いたします。

～～ 審議の経緯 ～～

- 平成28年4月22日 第1回宇都宮市河内自治会議
- ・市長から「合併市町村基本計画の執行状況について」諮問
 - ・合併市町村基本計画の執行状況について審議
- 平成28年5月27日 第2回宇都宮市河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議
(主要事業についての協議)
- 平成28年6月27日 第3回宇都宮市河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議
(答申書〔素案〕について)
- 平成28年8月1日 第4回宇都宮市河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議
(答申書〔案〕について)

～～ 河内自治会議委員名簿 ～～

会 長	杉 原 弘 修	
副会長	川 上 幸 子	
委 員	岩 寄 悦 男	
委 員	加 藤 幸 雄	
委 員	菊 地 久美子	
委 員	小曾戸 和 子	
委 員	小 森 光 晴	
委 員	櫻 井 基一郎	
委 員	島 田 正 重	
委 員	清 水 映 夫	(平成28年4月退任)
委 員	白 坂 喜美雄	
委 員	五月女 京 子	(平成28年4月就任)
委 員	多田出 芳 子	
委 員	田 村 正 男	
委 員	永 井 寛	
委 員	中 澤 敏 美	
委 員	防 木 正 雄	
委 員	松 谷 悦 広	
委 員	宗 像 茂	
委 員	山 田 祐 子	
委 員	我 妻 勝 次	

※委員名は50音順)